

インフルエンザ週報 2015年 第19週 (5月4日～5月10日)

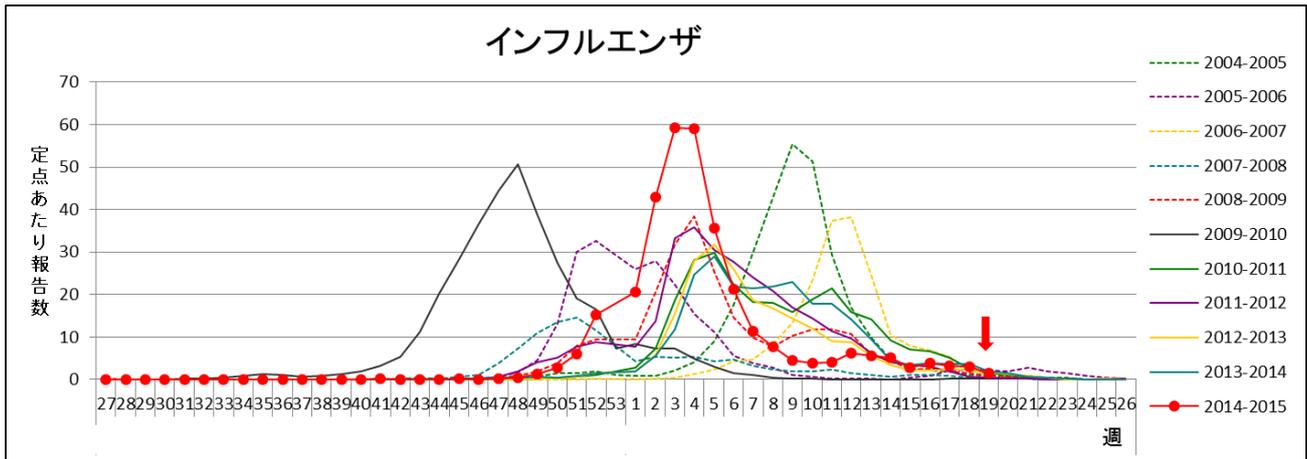
岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で122名(定点あたり2.89 → 1.45人)の報告があり、前週より減少しました。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が1施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者の報告はありませんでした。

【第20週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が、2施設でありました(5月11日～13日)。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で122名(定点あたり2.89 → 1.45人)の報告があり、前週より減少しました(84定点医療機関報告)。

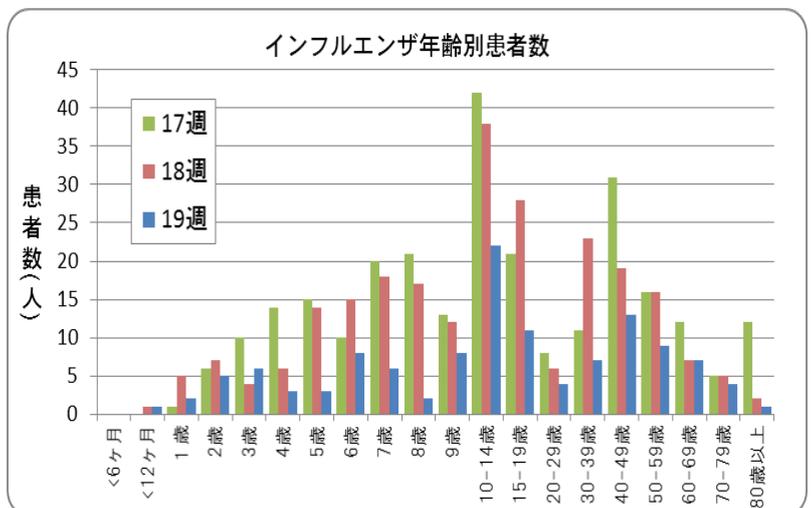
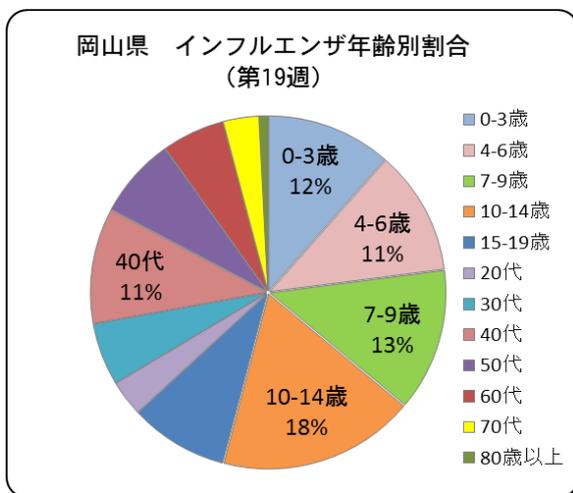
地域別では、美作地域でわずかに患者の増加がみられましたが、その他のほとんどの地域では減少しました。備北地域(3.33人)、真庭地域(2.67人)、倉敷市(2.44人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。

流行は終息に向かっているものの、依然として学校等の臨時休業も報告されており、患者の発生は続いています。岡山県はひきつづき「インフルエンザ注意報」により、注意喚起を図っています。『外出後や食事の手洗いを徹底する』『咳エチケットを心がける』『十分な睡眠を取る』など、感染予防に努めてください。また、症状のある方は早めに医療機関を受診しましょう。

[インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#)

1. 年齢別発生状況

第19週の年齢別割合は、10-14歳が全体の18%で最も高く、7-9歳 13%、0-3歳 12%の順となっています。



2. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	122	↓	備 中	患者数	11	↓
	定点あたり	1.45			定点あたり	0.92	
岡山市	患者数	22	↓	備 北	患者数	20	→
	定点あたり	1.00			定点あたり	3.33	
倉敷市	患者数	39	↓	真 庭	患者数	8	↓
	定点あたり	2.44			定点あたり	2.67	
備 前	患者数	6	↓	美 作	患者数	16	↗
	定点あたり	0.40			定点あたり	1.60	

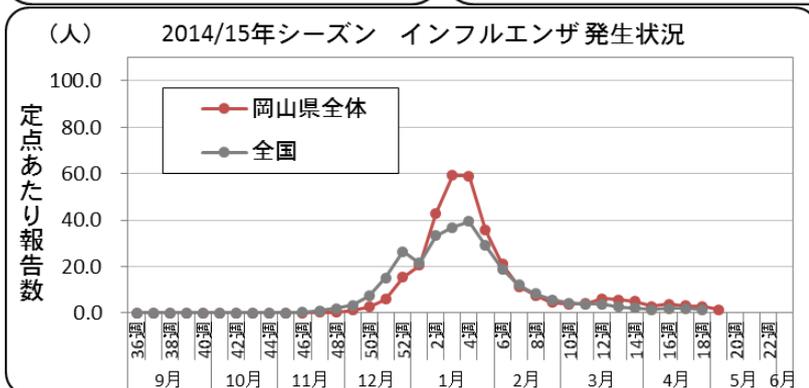
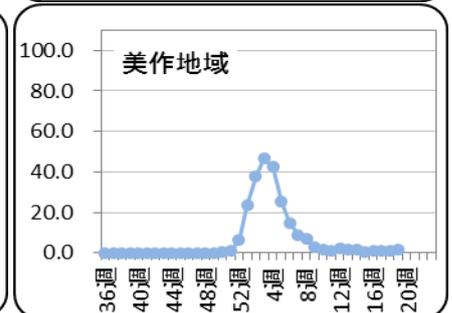
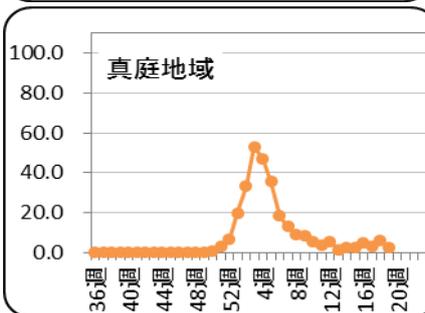
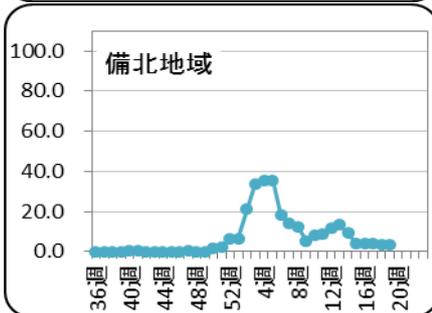
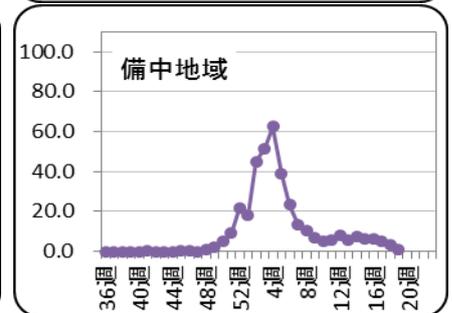
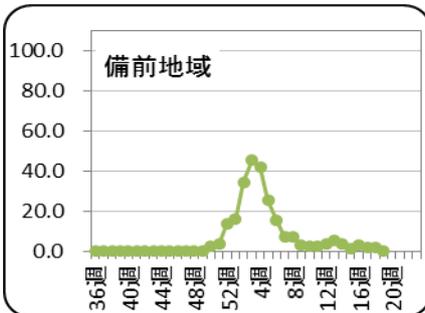
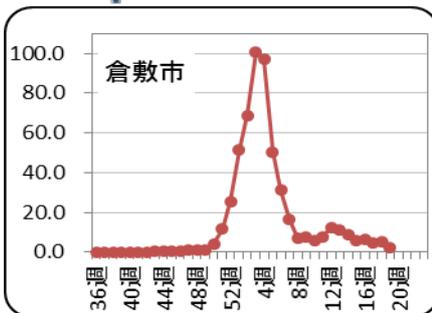
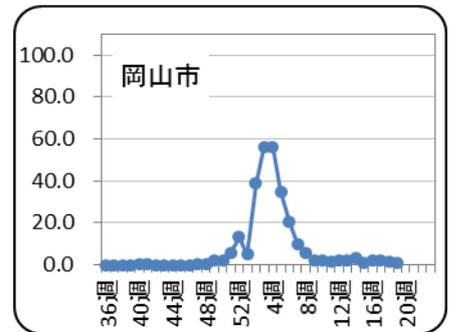
【記号の説明】 前週からの推移： 2倍以上の減少 ↓ 1.1～2倍未満の減少 ↘ 1.1未満の増減 →
1.1～2倍未満の増加 ↗ 2倍以上の増加 ↑

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10以上 30未満
レベル1		報告なし
基準値		基準値
0< 10未満		0



全国の第18週(4/27～5/3)集計によると、全国の定点あたり報告数は1.43人であり、前週(2.02人)より減少しました。都道府県別では、沖縄県(8.29人)、秋田県(4.02人)、福島県(3.40人)の順で定点あたり報告数が多くなっており、42都道府県で前週よりも減少しました。

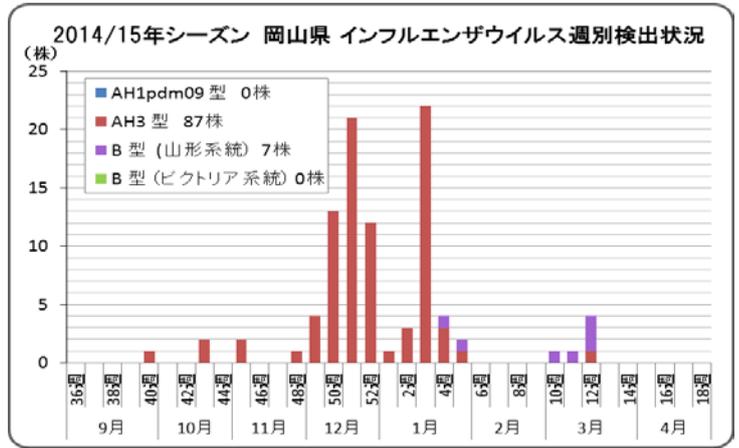
3. インフルエンザウイルス検出状況

第19週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、ありませんでした。今シーズンこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が87株(93%)、B型が7株(7%)となっています。

[岡山県 インフルエンザウイルス分離・検出状況](#)

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、岡山県と同様、AH3型の検出割合が最も高く88%、次いでB型が11%、AH1pdm09型が1%の順となっています。しかし、最近5週間(第14週～18週)の検出割合は、B型、AH3型の順に高くなっています。(2015年5月14日現在)

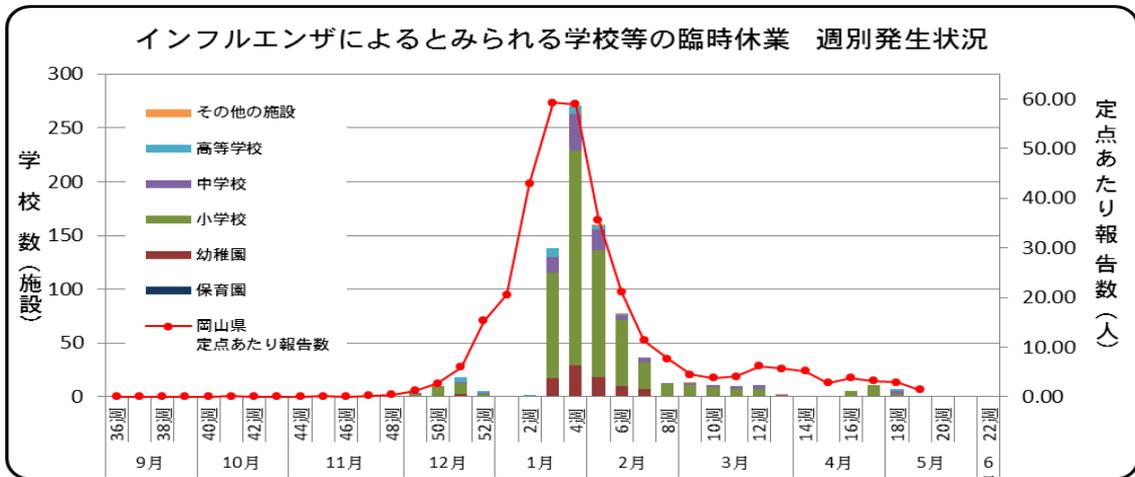
[インフルエンザウイルス分離・検出速報\(国立感染症研究所\)](#)



4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が1施設でありました。

【第19週 臨時休業施設数】 ▽真庭市 1



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	6	12729	6	9914	1	811	0	18	1	208	0	585	H26.10.21
岡山市	0	5160	0	3855	0	304	0	2	0	43	0	259	H26.12.1
倉敷市	0	3035	0	2478	0	167	0	3	0	26	0	138	H26.10.21
備前地域	0	798	0	673	0	67	—	—	0	25	0	42	H26.12.9
備中地域	0	1653	0	1321	0	134	0	5	0	55	0	74	H26.12.8
備北地域	0	351	0	196	0	14	0	1	0	7	0	6	H27.1.16
真庭地域	6	308	6	242	1	26	0	3	1	14	0	9	H26.12.16
美作地域	0	1424	0	1149	0	99	0	4	0	38	0	57	H27.1.13

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2) 臨時休業施設数の内訳

第19週：1施設

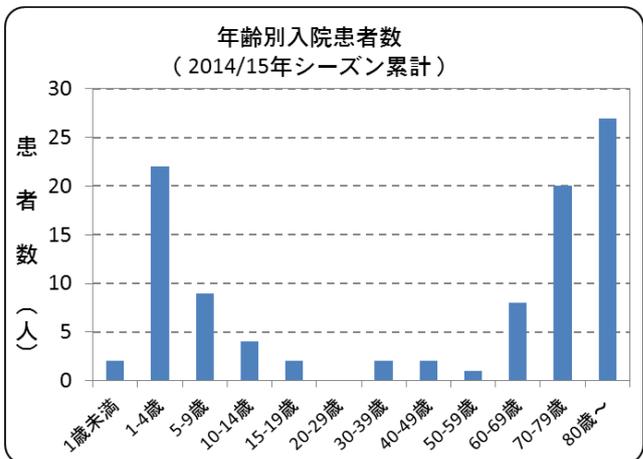
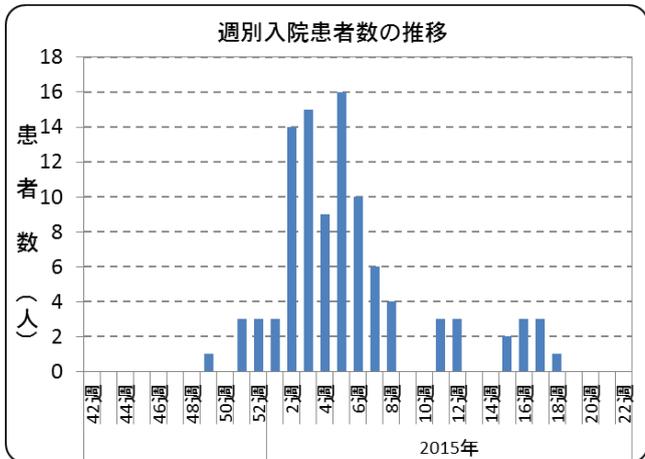
累計：811施設

施設数	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	0	86	1	596	0	97	0	27	0	5

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者の報告は、ありませんでした。

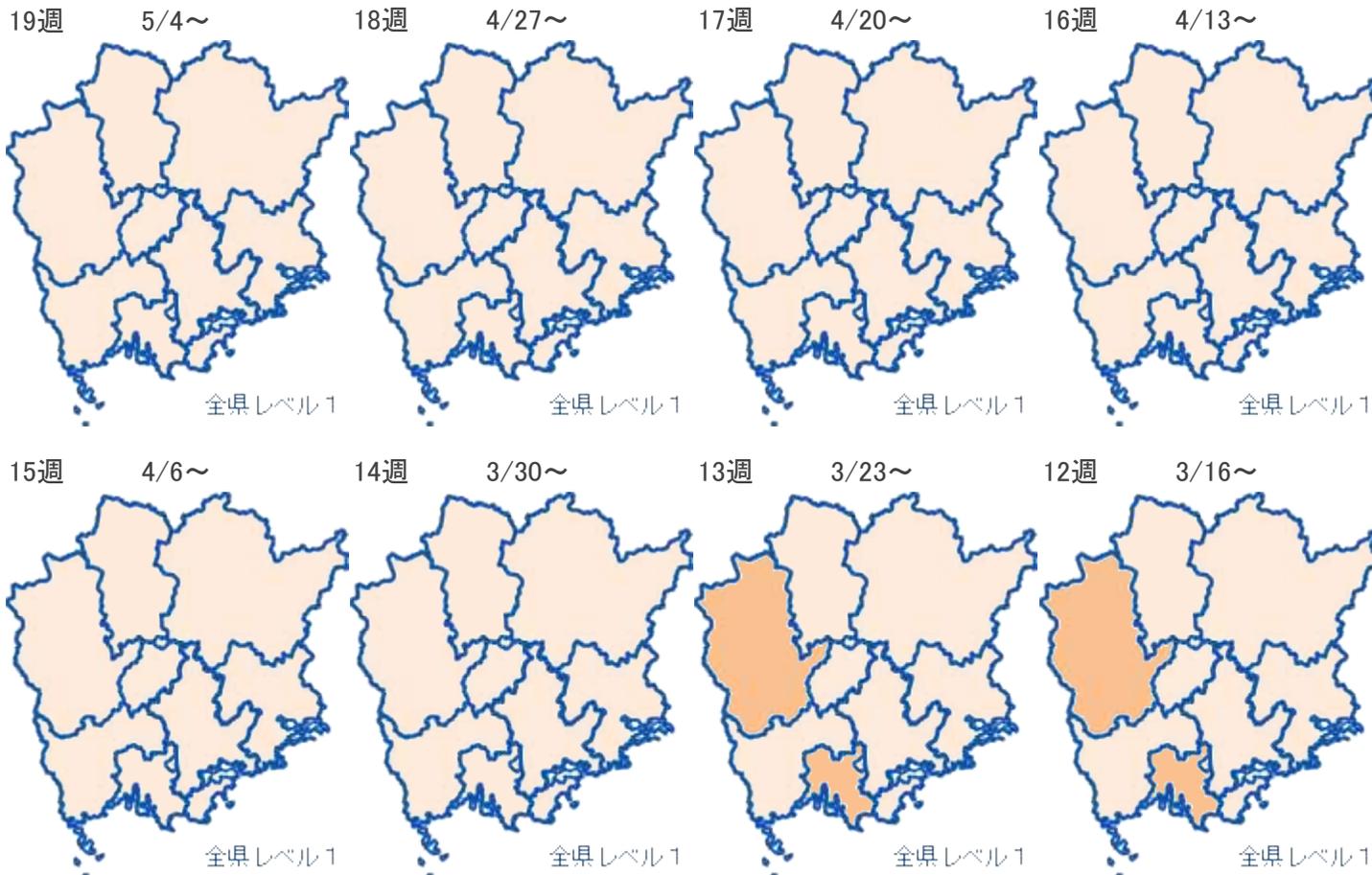
幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【2014年9月1日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	2	22	9	4	2		2	2	1	8	20	27	99
ICU入室											3		3
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査 (予定含)		5		1						2	4	3	15
頭部 MRI 検査 (予定含)		1		1							3		5
脳波検査 (予定含)		1									1		2
いずれにも該当せず	2	17	9	2	2		2	2	1	6	14	24	81

*重複あり



インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。